

恵の家通信 2025 年 9 月号

恵の家では、利用者の皆様が毎日を楽しく、生き生きと過ごしていただけるよう、様々な活動を取り入れています。これまでも多くの方々が好評だった懐メロや学童唱歌を歌うのは今の利用者皆様にも好評です。大きな声で歌ったり、手拍子をしたりと、和やかな雰囲気に含まれています。以前は同じビデオテープが擦り切れるくらい見ていましたが、今は動画配信で様々なチャンネルがあるので本当に便利になりました。インターネットという現代の便利なものを活用して、昔を懐かしんだり、若かりし頃を振替えています。また、体操の動画を見ながら介護体操も行っています。無理のない範囲で体を動かすことで、リフレッシュにもつながっているようです。皆様の笑顔と活気あふれる声がホーム中に響き渡り、穏やかでありながらも活気のある毎日を過ごされています。



沼田市の実地指導（監査）や外部評価がありました

8月19日に沼田市健康福祉部社会福祉課指導監査係による実地指導がありました。また、9月10日には第三者機関（NPO法人群馬社会福祉評価機構）によるグループホームの外部評価が無事に終了いたしました。グループホーム恵の家の利用者ご家族の皆様にはアンケートのご協力ありがとうございました。実地指導では、日頃から取り組んでいる支援内容や運営体制について細かく確認していただき、修正点や改善点など何点か指摘を受けましたが、概ね適切な運営が行われているので、無事に運営が継続できますのでご安心ください。また、外部評価では、「利用者個人を尊重し安らぎと安心感の持てる生活へ支援します」という法人の理念のもと、ご入居者様のご要望にできるだけお応えして、自宅へお連れしたり買い物に出かけるなど、職員が時間を工面して出かけていることを高く評価いただきました。これからも、より良いサービスを提供できるよう、職員一同、質の向上に努めてまいります。引き続き、ご利用者様が安心して穏やかに過ごせる環境づくりに尽力してまいります。



ウエルシアでお買い物



ゲリラ豪雨

先日は経験したことのないゲリラ豪雨が発生しました。幸いホームに被害はありませんでしたが、近隣で土砂崩れが発生し改めて災害への備えの重要性を痛感いたしました。今回の豪雨を教訓に、BCP（事業継続計画）の見直しを行う予定です。特に、これまで想定していなかった「ゲリラ豪雨」や「土砂災害」に特化した避難経路や備蓄品の確認、情報収集の方法について、具体的に見直しを行いたいと思います。地域の避難所にしてされている施設に向かう道で土砂崩れが発生していたため、運営推進会議の議題にも挙げて、沼田市や沼須町の方々と安全確保に向けた意見交換も行いたいと思います。

←沼須町に入ってくる坂道では大きな木が倒れていました

